

## 令和3年度第3回守山市図書館協議会 議事録（要旨）

令和4年2月18日（金）

午後1時30分から午後3時まで  
守山市立図書館 多目的室

### 出席者

委員：足達委員、久米委員、丸田委員、浅田委員、佐伯委員、田中委員、真弓委員、  
村瀬委員、山田委員、武藤委員、今関委員、岸本委員

事務局：向坂教育長、細谷教育部長、嶋本教育部次長、松本館長、西村副館長、  
佐藤参事、天谷主査

### 1 開 会

本日は、公私何かとご多用の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。  
定刻になりましたので、ただ今から、令和3年度、第3回守山市図書館協議会を開会  
させていただきます。

### 2 会長あいさつ

最近出席する会議のほとんどが ZOOM 開催となっています。こうして皆さんと対面でお  
話しできることをうれしく思っています。委員の任期は、今年度末で終了となり、この  
メンバーで会議をするのはこれが最後になります。ぜひ忌憚のないご意見を出してい  
ただいて思い残すことのないようにしていただきたいと思います。どうぞよろしく願  
います。

### 3 教育長あいさつ

本日はとても寒い中、本協議会にご出席いただきありがとうございます。  
また平素は、図書館運営、読書活動推進にご尽力賜り、重ねてお礼申し上げます。  
先ほど会長からもございましたように、この3月で委員の皆様が任期が満了となりま  
す。とは言うものの、この2年間はコロナウィルスとの戦いの連続で、図書館としまし  
ても激動の2年間でした。

そのような中、皆様からいただいたご意見を参考にいたしまして、読書活動推進に努  
めて参りました。おかげさまで今年度1月末の貸出冊数は、開館年の令和元年度1月末  
に比べて6.8%増の88万5千冊となり、多くの方に本を読んでもらうことができました。

また、皆様におかれましては、読書日本一のまちづくりについて様々なご意見をいた  
いただきありがとうございます。

昨年12月に開催した市民の皆様と図書館職員が語るワークショップでは、ファシリテ  
ーターとして協議会委員の佐伯様、真弓様、武藤様には、上手に意見をまとめていた  
だきました。ワークショップの結果は、今後の図書館運営に活かしてまいります。

本日は、前回の図書館協議会以降の活動報告、また令和4年度の活動計画、さらに令和5年度にオープンを予定しております北部図書機能整備などを中心にご報告、ご協議をさせていただきます。活発なご意見を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

<事務局>

※会議成立報告・資料の確認等

#### 4 議事

<事務局>

これよりは、守山市図書館協議会規則第2条第3項、「会長は、会務を総理し、会議の議長となる」との規定に基づき、会長に進行をお願いしたいと存じます。

##### (1) 報告事項

<岸本会長>

それでは、次第に従いまして、本日の協議会の議事を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

報告事項、1点目「令和3年度10月以降の図書館運営状況について」を事務局より説明をお願いします。

<事務局>

資料に沿って説明

ア 令和3年度10月以降の図書館運営状況について【資料1】

<岸本会長>

それでは、ただいまの説明に対しまして、ご意見・ご質問等がございましたら、挙手のうえ、発言をお願いします。

<岸本会長>

特にございませんか。

貸出冊数が年間で100万冊を超えそうですね。1日平均3,700冊なので、多い日は8,000冊を超えると思います。数字だけではなかなかわかりにくいですが、書架の1つの棚に本が30冊入りますから、1日平均で100棚以上、多い日で200棚以上の本が貸し出されていることになるわけです。相当の量だと思います。返ってきた本は書架に戻さなければいけませんから、職員の方は大変です。

では次に、「図書館開館3周年記念行事開催結果報告について」事務局より説明をお願いします。

<事務局>

資料に沿って説明

イ 図書館開館3周年記念行事開催結果報告について【資料2】

<事務局>

12月18日のワークショップ「新図書館3周年記念」につきましては、佐伯委員、真弓委員、武藤委員にファシリテーターとしてご参加いただきました。参加されてのご感想を一言お聞かせください。

<佐伯委員>

参加された市民の方は、非常に熱心で図書館をよく利用されていることがわかりました。同じグループの武藤委員が上手くまとめてくださいました。

<真弓委員>

私が担当したグループは中学生や高校生が参加してくれていました。とても元気で驚かされました。中高生サポーターの方だったのですが、私もサポート隊をしていますので、ぜひお近づきになりたいと思っていました。非常にパワーがあって、元気をいただきました。サポート隊同士で交流できて嬉しかったです。

<武藤委員>

様々な年代の方の意見を聞いたことが良かったと思います。また、普段の協議会では出ないような意見がたくさんあって新鮮でした。例えば、図書館の周囲に生えている植物の名前が知りたい、図書館のイベントについて発信力を高めてほしい、などの意見が出て、なるほどと思いました。

難しい点は、意見交換をする場なので参加のハードルが高かったことだと思います。参加者が少なかったなので、たくさんの方が参加したいと思えるようにしていくことが課題だと感じました。

<岸本会長>

ありがとうございました。お聞きしながら、初めての試みにしては良い結果になったのではないかと思います。

それでは、ただいまの説明に対しまして、ご意見・ご質問等がございましたら、挙手のうえ、発言をお願いします。

<今関委員>

コロナの状況なので大きく3周年とうたって取組をすることが難しかったのではないかと思います。3周年の手応え、喜びをもっと出せればと思いました。図書館に来るとお祝いメッセージが掲示されていて、自分も書きたかったと思いました。もっと取組を市民に知らせることができれば多くのメッセージが集まったのではないのでしょうか。ま

た、サポート隊の動画を見て、こんなにたくさんの方がいらっしゃるのだなと驚きました。ただ、一つひとつの動画があまりにも早くて、個々のグループがどんな活動をしているのかわかりにくかったです。これをどうサポート隊同士の交流につなぐことができるか、この動画を見た市民がサポート隊の活動に関心を持ち、3周年の喜びを得ることができたのか、少し見えにくかったと思います。様々な良い試みではあったのですが、私としてはその試みが成果として花咲いたという印象ではありませんでした。今度5周年を行うときはもっと上手にできると思います。試みはとてもいい狙いでした。

<岸本会長>

ありがとうございます。図書館の発信力はまだまだ課題だと思いました。

それでは、次に、報告事項3点目の「令和3年度図書館利用状況について」事務局より説明をお願いします。

<事務局>

資料に沿って説明

ウ 令和3年度図書館利用状況について【資料3】

<岸本会長>

それでは、ただいまの説明に対しまして、ご意見・ご質問等がございましたら、挙手のうえ、発言をお願いします。

特にございませんか。

2頁目「駅前総合案内所・速野会館・中洲会館・予約図書受渡等の状況」については、前年比150%から200%を超える状況となっています。図書館の利用の広がりについて、内容を分析していく必要がある項目だと感じました。

<岸本会長>

次に、協議事項へ移ります。

協議事項1点目、「令和4年度運営方針および活動計画(案)について」を事務局より説明をお願いします。

<事務局>

資料に沿って説明

ア 令和4年度運営方針および活動計画(案)について【資料4】

<岸本会長>

それでは、ただいまの説明に対しまして、ご意見・ご質問等がございましたら、挙手のうえ、発言をお願いします。

今回がこのメンバーで議論する最後になりますので、来年度に限らずこれからの守山市立図書館に期待されることをご自由にお一人ずつお願いします。

<丸田委員>

明富中学校です。本校では司書の方に学校図書館に来ていただいて定期的に資料の入替やレイアウトの修正を実施しています。学校司書に来ていただけるのは本当にありがたいです。

本校の学校図書館は3階の一番遠いところにあるのですが、昼休みには生徒達が憩いの空間として利用しています。

北部図書機能が本中学校の近くにできるということを非常に楽しみにしています。現図書館が素晴らしいのはよくわかっていますが、明富中学校区からするとかなり距離が遠いので、北部ができれば図書館を利用する生徒達が増えると思います。

コロナ禍において、読書量が増えてきたという報告もありますので、図書館のこれからについては期待しています。

<久米委員>

小学校の代表として参加しております。河西小学校です。学校としましては、司書の方が週1回必ず来てくださるということが何よりありがたいと思っています。以前にお話ししましたが、学校で読書活動をしていくための拠点になるのが学校図書館です。授業でも教材として様々な図書を扱いますので、司書の方に相談しながら集めたり提供していただいたりすることで、教員の負担も軽減されますし、知見も広がります。学校司書の役割は非常に大切だと考えています。来年度以降もこの体制が保障されるようお願いします。

また、個人的には10月9日に開催されました、祥伝社の辻社長による「やっぱり本はおもしろい！書き手と読み手をつなぐ」に参加したかったのですが、気づいたときには遅く、参加できませんでした。好きな作家のお話が聞ける貴重な機会でしたが残念でした。これからはもっとアンテナを張って、行事に参加できるようにしたいと思います。

<足達委員>

速野幼稚園です。幼稚園の子どもたちも本当に絵本が大好きです。お家ではスマホで遊んだり、動画を見たりするといったお話も聞くのですが、園では絵本をめくって楽しんでいる子どもたちの姿をよく見ます。子どもたちは絵本を通して、様々なことに興味関心を持つようになります。その中で色々な言葉を獲得したり知識を得たりします。

園では、図書館の場所を知らない子どももいます。行ったことのある子どももとても遠かったと感じています。やはり速野の子どもたちにとって現図書館はとても遠い存在のようです。

<武藤委員>

発信力についての意見です。毎月のイベントカレンダーの掲載は、玄関とホームページだけなのでしょうか。

<事務局>

そうです。

<武藤委員>

図書館のイベントをチェックするためにわざわざホームページを見る市民は少ないのではないのでしょうか。イベントカレンダーやサポート隊のチラシを、予約受渡を行っている会館や駅前総合案内所に設置すれば、より市民に情報発信ができるのではないのでしょうか。

また、インスタグラムにもイベントカレンダーを掲載すると良いと思います。

<山田委員>

資料4の3頁に「ICTを活用した新しい読書生活の推進」とありますので、新たな取組がありましたらDVDの作成等で協力できると思います。

<村瀬委員>

読書日本一のまちをめざすということで、令和4年度の計画を立てられたと思います。前回見せていただいた図書館見学用のDVDはとても素敵な内容でした。各校に配布されたということですが、活用できていなければ勿体ないと思います。小学3年生に対しては、図書館見学やそれが難しいのであればDVDを見てもらえるような図書館からの働きかけが必要ではないのでしょうか。例えば図書館司書と一緒にDVDを見て終わったら質問に答えるとか。資料4の3頁に「図書館見学用DVDの利用促進」とありましたので、小学生が図書館に来館する、本に興味を持つための取組をしていただきたいと思います。

また、ブックトークについては、資料1の4頁にありますように中洲小学校では実施されています。他校ではコロナの関係で難しかったのかもしれませんが、高学年に対してはブックトークによって今まで知らなかった本への出会いや興味を引き起こすことができます。ぜひ進めていただきたいと思います。

<真弓委員>

サポート隊については、資料4の2頁に「横のつながりも深まるよう取り組みを進めます」とありますが、具体的に進んでいることはあるのでしょうか。

<事務局>

今年度も実施しましたように、おはなしボランティアの集いでは、ボランティアさんに集まっただけで交流会や本を選ぶための勉強会をしています。また、令和元年度にはサポート隊の皆様にご参加いただき横の連携を取りながら『としょかん誕生祭』を実施しましたので、同様の行事ができればと考えています。

<田中委員>

守山商工会議所です。商工会議所で行っている創業塾や地元企業の展示コーナーに関して、図書館に協力していただいています。京都新聞2022年1月5日号に守山の図書館が大きく取り上げられました。「本を借りるだけの場所というイメージが大きく変わった」ということです。また、地元の印刷会社と作っている子育て情報誌「ママパスポー

ト」の記事も掲載されていきました。PRの場所として市立図書館が活用されているということで紹介をさせていただきました。

図書館の素晴らしい点は、小さいお子さんからお年寄りまで多くの世代が集まる公共施設だということです。2月16日には商工会議所で地元の8事業者の新商品・新サービスに関する合同記者発表を開催しました。報道関係者は7社参加したのですが、マスコミ関係者だけではなく、もっと多くの方が参加できるような記者発表を図書館でできないものかと思いました。

商工会議所の立場としまして、図書館と連携し地元企業・産業のPRをしていきたいと考えています。

#### <浅田委員>

令和元年11月に図書館開館一周年記念の文学・歴史講座の講師として、作家の今村翔吾さんにお越しいただきました。その今村さんがこの度、直木賞を受賞されて非常に嬉しく思いました。講演をお聞きしたことで親しみを感じ、感慨もひとしおでした。これからも応援したいと思いました。

#### <今関委員>

私は一人の利用者として、図書館に来て期待を裏切られたという経験をしたことがありません。いつ図書館に来ても、どんな質問をしても、資料や情報を必ず用意してくれます。その図書館の働き、知りたいことがなんでもわかる場所ということが市民に広くわかってもらえたらと思います。カウンターを見ていると、そうした理解が市民にも広がっていると感じます。時に無茶な意見を言う方も見かけますが、司書が丁寧に対応してくださっています。私は、市民のために頑張っている司書が作っている図書館の空気を感じると嬉しくてとても良い気持ちになります。

よく利用されるようになったと思うのが、新聞・雑誌コーナーです。市民の集いの場になっているようです。現在は間隔を空けて座るようになっていますが、満席です。

また、司書が巡回してくれていて、2階でも気軽に質問をすることができます。1階にしかカウンターがないので、2階では相談できないのではないかと心配していましたが、全然不便ではありません。2階でも気軽に質問することができます。

一つ気掛かりなのは、ティーンズコーナーです。開館の時よりも利用している人が少ないように思います。対象年齢の人があまり利用していないのではないのでしょうか。開館時に私たちが期待していたことが3年経って形になりつつあるものの、ティーンズコーナーについては、まだ課題があるように思います。

以前に意見を言ったことがあると思いますが、保育園や小中学校の図書室を見学する機会を作っていただきたいと思います。より良い連携を考えていく上で現場を見学することが大切だと思います。

また、以前は学校の図書主任の先生を対象にした勉強会があったように思いますが、最近はそのことを聞きません。学校と図書館の連携が以前より見えにくくなっているように思います。学校図書館はより充実しているのですが、この協議会の報告としては学校の様子が変わりにくくなっている印象があります。

資料1の6頁「著作権研修」で、職員が著作権の勉強をしたとお聞きして、市民に著作権のことを教えてほしいと思いました。私たちの仲間で紙芝居を作っています。絵本をそのまま写し取って紙芝居にした人がいます。善意ではあるものの、本当はしてはいけないことではないでしょうか。作家サイドの立場で言えば、許諾を得ているのかが気になります。著作権のことを市民が常識的に知っておく必要があるのではないのでしょうか。滋賀県立図書館の岡田委員が出席しておられたら、県に要望しようと思っていました。市民向けの著作権の勉強会を開催していただきたいとお願ひしておきます。

#### <佐伯委員>

「広報もりやま」2月15日号の2頁に今村翔吾さんの記事が載り、図書館司書のコメントも掲載されていたことが嬉しかったです。また、19頁には「みんなの読書活動」の記事に年2回の読書量調査の結果が出ていて、守山の子どもの読書量が増えていることがわかりました。「広報もりやま」に図書館関係の記事が載っているのは大きな広報活動だと思います。今後も充実させてもらいたいと思います。

私の連れ合いは以前、野洲の図書館を度々利用していました。守山の図書館が新しくなってからは、こちらをよく利用するようになりました。また、子育て世代からは「おはなしのいえ」が癒されるという話を聞きます。図書館が居心地のいい場所になっていることがわかります。私の孫は野洲在住ですが、守山の図書館に連れて行ってほしいとよく言っています。あたたかな雰囲気を魅力に思っている人が多いのではないのでしょうか。

北部の図書機能については、資料4の3頁に「乳幼児とその保護者ならびに高齢者に多く利用していただく施設」と書いてありますが、小中学校が近くにありまうので学校の生徒を新しい施設に引き込むような工夫をしてほしいと思います。

#### <岸本会長>

広告の世界ではブランディングという言葉がありますが、守山の図書館はある意味ブランド力を持ちつつあるのではないのでしょうか。市民の皆様に非常に評価していただいていることをどう生かしていくかが大切だと思います。田中委員の記者会見に関するご意見については、私もテレビで見えていて図書館で実施すればいいのにと感じていました。海外では記者会見の会場に図書館が使われる事例もあります。図書館で行うことに大きな意味がありますし、一般の方々が興味を持つ機会になります。守山の図書館はそうした場所に使えるブランド力があるので、上手く使っていただきたいと思います。

皆さん、Instagramで守山市立図書館をフォローしていますか。是非フォローをお願いします。Instagramではイベントの告知はしていないのですね。

例えば大阪府立図書館のInstagramは、YA向けの投稿をしていて青少年にターゲットを絞っているのです。SNSの運営については、誰に向けて発信するのかということをお明確にしておかないと継続が難しくなってくると思います。他市のまちづくり協議会での事例ですが、30代から50代の女性はLINEを見て委員に応募したという話もあります。守山市立図書館のInstagramについても、今後ターゲットを絞っていくことが課題になってくるのではないのでしょうか。

<岸本会長>

協議事項 2 点目、「北部図書機能の整備について」を事務局より説明をお願いします。

<事務局>

資料に沿って説明

ア 北部図書機能の整備について【資料 5】

<岸本会長>

前回ご意見をいただいたことでもあります、今回の説明をうけて改めてご意見・ご質問等はございませんか。

<今関委員>

司書は北部に配置されるのでしょうか。

<事務局>

常時 2 名程度の勤務を予定しています。1 階カウンターにいる職員 1 名と 1・2 階のフロアワークを行う職員 1 名です。

<今関委員>

現在、本館に勤務している職員が派遣されていくのでしょうか。

<事務局>

人員としては、北部専属の体制を考えていますが、状況によっては現図書館の司書が勤務する可能性もあります。

<佐伯委員>

公民館との連携についてお尋ねします。多目的室の貸館など公民館職員との職務分担についてはどうなるのでしょうか。

<事務局>

具体的にはこれから協議を進めて参ります。親子ほっとステーションの『親子のおはなし会』は今も実施していますが、今後はますます連携を強めてまいります。公民館活動や行事の開始に合わせた関連資料展示等、公民館の事業に合わせた企画を実施していく予定です。

<佐伯委員>

本館とは違った、今までにない施設なので、公民館活動と一体となったより良い運営を期待します。

<今関委員>

感想としては、こんな大きな図書機能を持った施設が北部地域にできるとは思っていませんでした。本館を改築したばかりなので、もっと小規模の施設になると思っていました。予想以上に力の入った内容で驚きました。良い活動ができるのではないのでしょうか。うまくいくことを期待しています。

<岸本会長>

先ほど守山の図書館のブランド力が向上しているという話をしましたが、同じ市内に図書館ができるわけですから、北部についても本館と同レベルのサービスが必要です。北部でのサービスが不十分なものになってしまうと、せっかく向上してきた守山の図書館のブランド自体に傷をつけてしまうことになりかねません。そこに気をつけて頑張っ

て取り組んでいただきたいと思います。

5 その他

<岸本会長>

その他の項について、事務局から何かありますか。

<事務局>

今年度の図書館協議会は今回で最後となり、2年の委員の任期が満了となります。委員の皆様におかれましては、2年間、図書館協議会委員としてご議論いただき、ありがとうございました。

とりわけ、読書日本一のまちづくりにつきましては、どのようなまちが読書日本一のまちなのか、委員の皆様から様々な貴重なご意見をいただきましたことに感謝しております。今後も、いただいたご意見を実現できるよう、図書館活動を進めてまいりたいと考えております。

<岸本会長>

本日は、円滑な議事運営にご協力いただきましてありがとうございました。2年間委員として皆様と一緒に議論できたことを喜んでおります。私からもお礼申し上げます。それでは、進行を事務局にお返しします。

6 閉会

<事務局>

岸本会長、委員の皆様、本当にありがとうございました。それでは、以上をもちまして、令和3年度第3回守山市図書館協議会を閉会いたします。

お帰りの際は、お気をつけてお帰りください。本日は、誠にありがとうございました。

以上